

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 29 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 3 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時 平成 29 年 11 月 6 日（金） 13:00 ～ 15:00

2 場 所 県庁 10 階 審問廷

3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・入札および契約に係る制度の運用について
- ・抽出事案審議
- ・談合その他の不正行為に関する事項について

(3) その他

(4) 閉会

5 会議概要

(1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

- ・契約件数、落札率の状況について説明
- ・指名停止の運用状況について説明
- ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 応札者数が増えているように思えるが、何かあったのか

A 年度の途中であり、応札数が増えているとは認識していない。

Q 簡易プロポーザルとはどんなものか。

A 公募型はWTO対象案件で簡易プロポーザルはそれ以外を対象としている。

Q プロポーザルの審査員はどのような方か。

A 大学の教授、観光連盟、等外部の委員 5 名と県の内部委員が 2 名である。

□ 抽出事案審議（事前に荒井委員が抽出）

ア 道路改良工事（社会資本整備総合交付金（広域連携））その8工事

Q 地域防災力維持型とはどういう視点で評価しているのか。

A 過去2年間の工事成績、自社施工配置技術者の資格、除雪契約、災害協定の有無等である。

Q 工事成績の3点の差はどの程度のものか。

A 工事成績の平均点が約76点であるので、80点というのはかなり高い方である。発注された工事の金額により、工事成績の評価点0.1点がどれくらいの金額に相当するか異なる。

Q 工事成績のつけかたはどのような基準か

A 工程管理、出来形管理、品質、地元貢献等、基準が統一化されたもので成績を付けている。工事中に事故等を起こすと減点となる。

イ 港湾施設改良費統合補助事業（防災・安全交付金）その1工事

Q 電気防食工とはどのような工事か。

A 鉄筋の中に微弱な電流を流し塩害を防止するという工事である。

ウ 平成29年度 基幹水利施設ストックマネジメント事業

Q 価格競争としたのはなぜか。

A 発注金額の基準のよって決めている。

Q スtockマネジメント事業とはどのような事業か

A 社会資本の長寿命化で耐用年数以上に補修しながら利用していこうという事業である。

エ 県庁舎空気調和機改修工事（H29）

Q 今回4回目ということだが、全て同じ条件で入札か。業者は

A 発注金額が異なるため、27年度のみ価格競争、その他の年度で総合評価の方式とした。

オ 広域河川改修工事（防災・安全交付金）調査業務委託29-1

Q 県内業者はゼロというのは、経験がないと今後できないのではないか

A 今回は対象となる生体を具体的に絞り、生態や卵の個数等を調査するという、かなり具体的な数字を求めている特殊な業務であり、頻繁に発注されるようなものではないため、調査できる業者は限られてくる。

Q 今回の調査結果はどのように使用されるのか。

A 工事施工後でも今ある産卵場を施工前と同様の環境を整えられるようにしておく等の対策に使用している。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が2件あったが、談合の事実があったとは認められなかったことを報告

(4) その他

特になし